



とまりぎ

聞かせて！居場所からの声

（『令和元年度「茨城県内子ども食堂実態調査」報告書」などから表現を一部修正して掲載）

友達にも会えるし、たくさん遊べて楽しい。ここはお腹いっぱいご飯が食べれる。みんなといっしょにいるから寂しくない。

（利用児童）



地域の方に子どもを見守ってもらえて安心できる。保護者同士でも情報交換できて良い。家では食べない野菜も食べている。

（保護者）



子どもたちの笑顔がとてもやりがいになっている。「ありがとう」と言われることが嬉しい。同じ想いのある方とも多く知り合うことができた。

（運営者）



居場所と地域の関わりは？

こどもの居場所は、子どもやその保護者だけでなく、高齢者がやりがいを持って参加していたり、利用者だった子どもが高校生になって手伝うなど、地域の多世代交流の拠点としての機能も担っています。

事業実施体制

事業実施期間
令和7年9月～12年3月

古河市子ども政策課

成果に応じた
委託料支払い

成果運動型
委託契約

株式会社 公文教育研究会（幹事者）
【役割：SIB組成のハブ組織】

世界61の国と地域に展開する教育の企業。
乳幼児から高齢者まで、さまざまな世代に学びを届けている

<資金提供者>
日本政策投資銀行
常陽銀行

融資／投資

返済／成果報酬

認定NPO法人

茨城NPOセンター・コモンズ

【役割：団体立上げや支援のノウハウ提供】

茨城県を拠点に市民活動や地域課題の解決を支援する中間支援型のNPO法人

3者による
共同企業体

社会福祉法人下総プリンスクラブ

【役割：地域ネットワークの推進】

1976年に設立された古河市の社会福祉法人。特養（白英荘）など高齢者福祉や子ども食堂など世代を超えた地域支援に注力する

ネットワークの組成・運営及び本事業に関わる業務

お問い合わせ 古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎ

（共同事務局：認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ）担当：尾崎、大野
〒306-0231 茨城県古河市小堤1796-2 社会福祉法人下総プリンスクラブ白英荘内
電話：0280-23-6182 FAX：0280-23-6183
eメール：info@koga-tomarigi.org ウェブサイト：http://koga-tomarigi.org/



とまりぎHP

古河市子ども計画

KODOMO GRAND DESIGN

2025-2029



子どもたちの笑顔のそばに

とまりぎは、古河市のこどもが複数の居場所を持ち、市内に多数の居場所がある状況を生み出し、地域におけるこどもの健全な育成及び福祉の向上に寄与することを目的としています。

